

## 第32回全国土地改良大会 島根大会 あいさつ

1. 本日、第32回全国土地改良大会が、この島根松江の地で、このように盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。全国各地よりお見えになった皆様を心から歓迎申し上げます。

2. 今、地方の状況を見ますと、様々な課題に直面しております。農村では少子高齢化、農業従事者の減少などにより、農地や山林の維持が困難となる集落も増えてきているのを日々、目にするのであります。

3. 他方、目を外に、世界に転じますと、新興国の経済発展により世界の食糧需給は大変、厳しくなってきました。また地球温暖化が進み、CO<sub>2</sub>の吸収のため、森林や豊かな自然、農業の役割が見直されてきております。

4. こうした内外の情勢を見ますと、皆様が取り組んでおられる土地改良事業を通じて日本の食糧供給を確保し、美しく豊かな自然、古き良き文化・伝統、あたたかい温もりのある農村を守っていくことは日本にとって極めて重要な課題となっております。

5. 今、新政権の下で、農政についても種々の見直しが行われておりますが、私どもとしては「力強く、持続的に発展する農業と農村」の実現を国に求めていかなければなりません。

6. こうした中で、農業・農村の整備に取り組まれている皆様方には、日本の将来のため誇りをもって「土地改良への思い」を次の世代に引き継いでいただかなければなりません。

7. そのため私ども地方自治体も、国や農業団体とともに、皆様と力を合わせて、「豊かな農業・農村の実現」を目指して、全力をあげて参る所存であります。何卒、一緒に頑張ってください。

8. この島根は、古く神話の時代から農業によって支えられてきた県であります。その島根で開かれる本大会が実り多いものとなるようお祈りいたしますと共に、皆様には今回の松江滞在が有意義で楽しい思い出となるよう祈念申し上げて、ご挨拶いたします。